

the Pearl Flutist

ザ・パールフルーティスト

2023

フルーティストのための無料情報誌

2023年度  
全日本吹奏楽コンクール  
課題曲特集



井上 登紀

大阪フィルハーモニー交響楽団  
フルート奏者



神田 寛明

NHK交響楽団首席奏者  
桐朋学園大学教授



磯田 純子

オオサカ・シオン・ウインド・  
オーケストラ  
フルート・ピッコロ奏者



相澤 政宏

東京交響楽団  
首席フルート奏者

課題曲  
フルートパート  
徹底解説!!

# 行進曲「煌めきの朝」

(第32回朝日作曲賞受賞作品)

牧野圭吾

解説:

## 井上 登紀

Takaki Inoue

大阪フィルハーモニー交響楽団フルート奏者



曲の様々な場面で出てくるトリルは、華やかさを大事にしましょう。音と音の幅をみると全音の幅がほとんどです。ピアノの鍵盤を想像してみても音と音の間に鍵盤があるのが全音、ないのが半音です。全音の幅のときは、とにかく華やかに広がり感を持ってトリルの動きをしてください。フィンガリングがあっただけではダメですよ。逆に半音のトリルのとき(ⅠとⅡの後)は、少し音と音の密度が濃い感じで!この使い分け(イメージも含めて)がとても大事です。

牧野さんの解説を読むと、中島公園の水面や景色からこの曲のヒントを得たと書かれています。僕も実際にこの公園に行ったことがあって大ファンになりましたが、とにかく自然豊かで季節や時間帯によって様々な表情があり、時間が過ぎていくのを忘れてしまうくらい素敵な公園です。僕だったらこのトリルは、水面がキラキラ輝いている感じをイメージしながら演奏するかもしれません。タイトルにも朝という言葉が使われているように、一日の始まりである朝にこれからどんな素敵なことがあるのだろう!とワクワクする感じをⅠに向けて演奏してみましょう。

Ⅰの直前よく見ると1拍目の裏は誰も音がありません。音のない緊張感を大事にしましょう。Ⅰからはクラリネットとサクスがメロ

ディーを演奏しますね。Ⅱからこれらの楽器のメロディーラインにトランペットも参加します。より厚みをまして豪華になったメロディーに乗り遅れないよう、会話するように16分音符を演奏しましょう。41小節目からⅢまでは裏を感じるリズムが大事ですから、発音も固めにはっきりと演奏してみてください。Ⅳの4小節後から出てくる長いスラーは、横に横にとにかく歌いましょう。2拍子マーチの縦だけでなく、横にも歌う大事な場面です。

Ⅴからは転調して色が大きく変わりますね!へ長調から変ホ長調・・・むずかしい・・・いちばん大事なことは、何かが変わるよ!色のイメージを変えて吹きたい!ということを意識して吹きましょう。何も気にしないで吹き続けているのと、何かここから変えたいと思って吹く演奏はコンサートでいうお客さんの目線という全く違います。Ⅵからは、調号が明らかに変わりますね?♭4つの音階練習をして、それぞれのみんながイメージする色や景色を曲の中に生かしていきましょう。

Ⅶからはついにフルートソロですね。小節の頭に休符があり裏拍から音を出す時は、必ずどこかのパートに頭の音があります。それがどのパートで、それに対して動こうという周りに対してアンテナを張りまくる事がとても大事です。その後のピッコロもそうですが、音量表示はメゾ

フォルテですね。メロディーはいろんな楽器がピアノ(p)で演奏していますが、フルートたちはソロになるのでしっかりと吹いていきましょう。どれくらい吹くか?その瞬間にしかわからないのですが、アンサンブルに埋もれないように!と意識してみましょう。Ⅷからは同じ2分音符の音に違う音からアプローチしているのがわかりますか?Ⅷの後もそうですが、少しずつ色が変わっていくニュアンスが楽譜に書かれています。和音を知ることでも大事ですが、とにかく音を間違えないことよりも、色の変化を大事にしていきたいです。183小節目だけはトリルのアプローチが上から降りてくるのがわかりますか?それまでは、下から上に上がっていきますよね。特別な思いで吹きましょう。

皆さんのそれぞれの朝の景色から、素敵なドラマがはじまりますように!練習頑張ってくださいね。

# ポロネーズとアリア ～吹奏楽のために～

宮下秀樹

# 2



解説:

## 神田 寛明

Hiroaki Kanda

NHK交響楽団首席フルート奏者・桐朋学園大学教授

ポロネーズはポーランド起源の舞曲であることは皆さんもご存じでしょう。どの舞曲にも決まったステップ(振り付け)がありますが、ではポロネーズのステップは一体どのようなものでしょうか？

ポロネーズの実演は YouTube などでご覧することができます(英語で Polonaise dance などの言葉で検索します。日本語で「ポロネーズ」だけで検索すると、ショパンの作品がヒットします)。単なる行進のようですが、元はヨーロッパ宮廷の舞踏会などで、王侯貴族が行進していたものです。豪華絢爛なイメージを持ち、一定のテンポとリズムで厳かに進むことが一番のポイント。すべての音符がマルカート(はっきりと)でムラ無く、力強いキャラクターで聞こえることが大切です。

5小節目のリズム、3連符+8分音符の「タラララッ」は、スラーの終わり(8分音符)を短く切ります。スネアドラムを真似て、8分音符が弱くならないように注意。

練習番号 [B] のメロディーは4小節で一つの単位です。付点4分音符は十分にテヌート(保つ)し、途中で音が痩せたり、膨らんだりしないように。2小節目、4小節目の最初の音(16分音符)はマルカートでキリッとした表現

を。後に続く音と共に3つの音符をはっきりと演奏しましょう。24小節目、1拍目4つの16分音符は、それぞれ「スラーの最初」「スラーの終わり」ダブルタンギングなら「t」「k」と、すべてアーティキュレーションが異なる音ですが、音量とニュアンスの差が出ないように(2番目、3番目、4番目の音が小さくなりやすい)注意します。

2拍目のトリルに付けられた前打音は、拍の前に出さずアクセントを付けます。そのためには1拍目「ラソラシ」の「シ」をスタッカートで短く吹き、次の前打音との間にわずかな隙間を意識してください。もちろん、テンポから遅れないように！

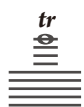
練習番号 [D] のトリルは「気合い」が必要！アバチュアを締めて空気柱の圧力を強めに保ちます。締めすぎると空気柱の絶対値が減り、音が出ません。運指は数種類ありますがどれも一長一短です。フルートの運指①は、1オクターヴ下の運指で「強引に」吹きます。ピッコロは、楽器のメーカーによって運指が異なります。何種類か運指を示しますので自分の楽器で出る運指を探してください。(指導者の方へ この音のトリルは演奏に無理があり、長く伸ばすことや *p* で演奏することは困難であることをご理解ください)

なお、特にピッコロでトリルキィなどを強く押しすぎると、シャフトがたわんでキィの開きが基準値を超えて大きくなります。楽器を痛めるだけでなく、キィが開きすぎると出るべき音が出なくなることがあります。第3オクターヴのB、Hなど、音が出ないとより力が入ってしまいがちですが気をつけましょう。

アリアは歌です。伸ばした音が美しく語りかけるようなイメージで。練習番号 [H] は印刷されたスラーの上に、2小節にまたがる大きなスラーが付いているように、フレーズの起伏を表現します。2小節目の1拍目の4分音符が突然大きくなると不自然です。前の小節の3連符にクレッシェンドを付けて、頂点に大きな表情でつながるように。同じ音が連続する部分(付点4分音符と8分音符)は、テヌートではっきりタンギングします。

72小節目3拍目の6連符には *un poco rit.* の指示があります。このような細かい音符は「ソラソファソッ」と急ぎがちになりやすいものですが、ゆったりと歌う感じで、少し粘るように「*そらそふぁそ*」と演奏します。タイでつながった3拍目の最初を合わせるのがコツです。

### 【フルート】



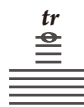
①



②



### 【ピッコロ】



①



②



③



※①は最初のGのみ通常の(親指を押さえない)運指

※自分の楽器に適した運指を選ぶ



# レトロ

(2023年度全日本吹奏楽連盟委嘱作品)

天野正道



解説:

## 磯田 純子

Junko Isoda

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ フルート・ピッコロ奏者

課題曲の中で、ポップス要素の強い曲が久しぶりに登場しました!コンクールが終了しても、人気曲になりそうな予感がします!各団体の演奏会で、この先何年経ってもラインナップするかもしれませんね!

この曲は途中でバラードな部分や、少し懐かしい時代のポップスやロック的なフレーズも多く、ノリがとても重要なポイントになるでしょう!

では本題に入りましょう。曲のキャラクターから、終始グリッサンドが多用されています。吹奏楽をやり慣れた皆さんなら、初めて見る記号ではないかと思いますが、普段から半音階や音階で指が素早く動けるようでないと、こういうのはカッコよく演奏出来ません。元々の音の長さはそれぞれ違っているので、どれぐらい音を伸ばしてから動き出すのか…、殆ど伸ばさず、すぐにグリッサンドするのか…というタイミングなどは、**tutti** の場合、相談して大体揃えておいた方が良いでしょう。基本的に元の音符の長さが長ければ、少し伸ばしてから音を降り始めます。グリッサンドで下がってきた時の到達音指定がないので、何の音で止まらなければならないとかはありません、適当でいいのです。

少し見慣れない書き方で記譜されている **A** の2拍目のところですが、しゃくり上げるように、記譜の音の少し下の方から(例えばGぐらゐから)一瞬で半音階を使いながら、Bの音に到達してみてください。**Fl** の場合、指を動か

すのではなく、歌口を普段のアンブシュアの位置より内側から外側に回し動かして、音程をしゃくり上げる方法もありますが、テンポも速いのであまり効果的に聴こえない可能性もあります。どちらの方法でも構いませんが、カッコよく聴こえれば OK です!

曲の冒頭の16分音符は、流れ星が流れていくようなイメージで、キラキラと下り降りて来ましょう。**A** の1小節前や **D** の2小節前などにトレモロがあります。トリル(2度上の音との動き)とトレモロ(同音や3度以上離れた音を上下に移動)の違いは?結果的に同じように聴こえませんか?と、質問される事があります。指定された2つの音を速く動かす事は同じなのですが、音の終結時が違います。トリルは初めの音に必ず戻ってから次の音に移りますが、トレモロは反復する後ろの音で終え、次の拍の音に移ります。それ故、トリルとトレモロは終結音の響きの印象が違います。

**D** の2小節目と **F** の2小節目に、**1st.Fl** は短い solo がありますね。**D** の方は8分音符を流れよくテンポが留まらないように演奏し、続いて **2nd.Fl** と **Ob** と一緒に、和音を感じながらゆったり落ち着き収まっていくように歌いましょう。**F** の方は16分音符を急ぎ過ぎることなく、**Sax** の solo に味を添えるような、余裕すら感じさせる吹き方で、拍の時間をぎりぎりいっぱい使いながら、歌って下さい。このバラードの部分はどのフレーズも、大人の雰囲気を漂

わせて、決して機械的にリズムだけが合っている…みたいな演奏にならないよう、ニュアンスをしっかりと醸し出しましょう。

**G** からはガラッと雰囲気が変わります。私は初めてこの部分を聴いた時に、リック・アストリーっばい!!と感じてしまいました(笑)ご存知でない方は、もしよかったら参考にググってみてください(苦笑)ここは **Fl** はハーモニー担当です。**Picc** がメロディですので、華やかにノリノリで吹きましょう!

作曲者の仰るように、70~80年代辺りに流行った音楽を意識されている作風なので、昭和~平成に年号が変わる時代あたりのポップスを色々聴き漁ってみて下さい。きっとイメージ作りになると思います。Crossover と書いてありますし、音楽のジャンルを越えた JAZZ やロック等の融合と言いますか…とにかく、クラシカルに吹いてはダメですし、速度設定も重要になってくるでしょう。

バラードの部分でもそうでしたが、**L**以降~最後までによく出てくる、8分休符から始まるフレーズも、その休符の間合いが大切です。シンコーペーションのカッコいい吹き方も、クラシックとは違う音の処理の仕方ですよ!テンポの速いフレーズでの細かいアーティキュレーションにも要注意です!正確に!! それらをしっかりと表現出来るよう、楽しみながらハッピーな気分で演奏出来るといいですね!!

# マーチ「ペガサスの夢」

水口 透



解説:

## 相澤 政宏

Masahiro Aizawa

東京交響楽団首席フルート奏者

詳しい解説に入る前に、この曲についてお伝えしたい大切な事。見れば分かりますが…「このマーチは 6/8 拍子である」ということです。

マーチは 2 拍子、4 拍子系のマーチと 6/8 拍子系のマーチの 2 つに分かれます。前者の代表は星条旗よ永遠なれ。後者の代表はウィントンポスト、ミッキーマウスマーチです。

両者の違いは分かりますか？

中に入っているリズムが前者は 4 つ割り、後者は 3 つ割りなので、だいぶノリが違ってきます。

例えば冒頭 5 小節目～の譜例 1A が譜例 1B の様にならないように十分気を付けて下さい。[B] の 1 小節前と [B] の 1 小節目の譜例 2A のリズムが譜例 2B の様にならないようにも気を付けて下さい。

もう一つお伝えしたい事は、この曲は伴奏の和音が印象的などころが多くあります。特にバスの音や動きを感じながら吹くととても幸せな気分になれますよ。余談になりますが、僕はオーケストラの自分のパートを勉強する時、コントラバスパートの音や動きを感じる時間を作っています。フルートやピッコロが木の実だとしたら、バスは根っここの部分なので、綺麗な木の実を支えてくれる、作ってくれる根っこを良く知っておきましょう。

それでは具体的に見ていきます。

5 小節目、6 小節目のタイが長くならないように気を付けたいのはお伝えした通りです(譜例 1)。[B] の 1 小節前と [B] の 1 小節目のリズムを正確に演奏してもらいたいのもお伝えした通りです(譜例 2)。

[B] の 1 小節前から始まる 16 小節間は、4+4+8 小節のフレーズを感じましょう。細切れないフレーズ(お話の仕方の様なもの)にならないようにすると素敵になります。

[C] の 5～8 小節目はユニゾンの楽器同士で、どの様な音量バランスにすると、皆さんの団体の素敵な音になるか、色々試してみてください。

[C] の 9～10 小節目はリズムが甘くなりやすいし、アーティキュレーションが不正確になりやすいので(16 分音符の後はタンギング)、正確に吹きましょう。

トリオに入り、[F] の 4～7 小節目は短い間ですが、優しく語りかける様な素敵なメロディだと思います。ここの譜例 1 同様タイを含むリズムに気を付けてください。ここのメロディはフルートとオーボエですね。オーボエの無い団体はフルートだけになります。音も低めだし、音のクオリティが悪くなりやすいところを通過するので、*p* のテイストのまま、会場にしっかり響く音が凸凹無くレガートで出るように、音色にこだわってみましょう。

[G]、[H] のメロディは他の楽器も含め音程を合わせたり、和音を作るパートとのバランスも考え全体で素敵な響きにしたいです。

[I] は臨時記号が多く厄介ですがしっかりと練習して正確に。まず、リズムにこだわらず、口でゆっくり歌って音を覚えると、この場所の演奏のクオリティが間違いなく上がります。トリルは最後のトリル以外はトリル用の指を使いますね！1 つだけ注意をしておきたいのが、

[I] の 11 小節目の C-D のトリルです。ここ 3 オクターブ目の C-D のトリルは右側(足部管側)のトリルキヤを使ってください。左側を使うととても狭い音幅になってしまいます。

[J] の「*piu f*」の意味は分かりますか？クラシックをやっているとよく目にする記号です。前の小節はクレッシェンドして *f* になりますね。そしてここでさらに一段テンションを上げてくださいと言う作曲者のサインです。この曲最後の一番の盛り上がり、[K] の 8 小節目からの *ff* も視野にあっての [J] の *piu f* かと思います。強いて言えば *f* と *ff* の間位と考えて良いでしょう。

この曲の最後 4 小節はディミニユエンドしながら上がっていきますね。音程が下がらないように気を付けて気持ちが軽く舞い上がって行く様なイメージで！





コラボレーション  
バッグの詳細は  
こちら

BAG

COLLABORATION

スタイリッシュかつ機能性に優れた斬新なデザインで、世代を問わず絶大な人気を誇るバッグ・ブランド“anello”と“Pearl Flute”のコラボレーションによって誕生したフルート・バッグ。フルート本体を安全に収納し運搬することはもちろん、ピッコロや譜面台、楽譜を入れるスペースも確保。フルーティストのニーズに的確に応えたオリジナル・フルートバッグです。

Legato Largo®  
Pearl Flute



フルートケースカバーは、表面素材には非常に軽量で丈夫な合成皮革を使用し、内面は厚手のボアを採用して大事な楽器を守ります。トートバッグは、ケースカバー入りのフルートH足部管モデルがそのまま入るサイズで、大きな譜面も収納可能。底には底鉾がついており楽器を衝撃から守ります。フルート以外にもクラリネット等の楽器や、パソコンなども入り、普段使いにもばっちりです。

BAG

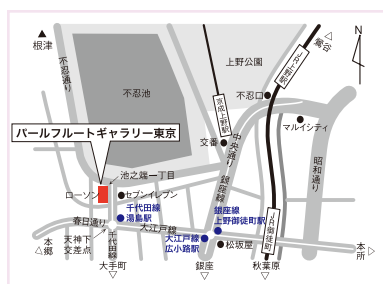
## フルーティストのためのスペース パールフルートギャラリー

パールフルートギャラリーではフルートに関するご相談、レッスン受講、リペア、コンサート等のご案内を承っています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

### Pearl Flute Gallery TOKYO <パールフルートギャラリー東京>

〒110-0008 東京都台東区池之端 1-1-1 MK 池の端ビル 3F  
TEL.03-3836-1610 FAX.03-3836-1673

●営業時間 10:30AM~6:30PM (月曜、日祭日定休)



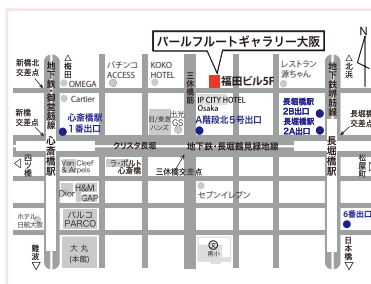
地下鉄千代田線・湯島駅下車1番出口より  
徒歩1分

JR、地下鉄・上野駅下車徒歩7分  
京成上野駅下車徒歩5分  
地下鉄銀座線・上野広小路駅下車徒歩5分  
地下鉄大江戸線・上野御徒町駅下車徒歩5分  
JR線・御徒町駅北口下車徒歩7分

### Pearl Flute Gallery OSAKA <パールフルートギャラリー大阪>

〒542-0081 大阪市中央区南船場 2-11-13 福田ビル 5F  
TEL.06-6282-0660 FAX.06-6282-0680

●営業時間 10:30AM~6:30PM (月曜、日祭日定休)



地下鉄御堂筋線・心斎橋駅 2番出口より  
クリスタ長堀経由A階段北5号出口徒歩1分

地下鉄御堂筋線・心斎橋駅 1番出口より  
徒歩5分

地下鉄長堀鶴見緑地線・長堀橋駅 2A出口より  
徒歩5分

地下鉄堺筋線・長堀橋駅 2B出口より徒歩5分

## パールフルート インフォメーション

パールフルートカタログ

パールフルート取り扱い  
楽器店にて配布中



パールフルート  
オフィシャルウェブサイト

<https://pearl-music.co.jp/flute/>



SNS

Twitter  
@pearl\_flute\_jp



Instagram  
@pearlflute\_japan



YouTube  
@PearlFluteJapan



お取扱店